

## 委員会だより

### 団体との意見交換を開催

生活・福祉委員会

2月2日に2団体と意見交換会を開催しました。登別市社会福祉協議会との意見交換では、第3期登別市地域福祉実践計画「きずな」の主な活動内容について伺いました。その中で、地域の見守り・支え合い活動などについては、市内町内会へ「きずな安心キット」の配布、「ふれあい食会」などを通し、地域の支え合いを支援している状況を知ることができました。

また、登別市民生委員児童委員協議会との意見交換会では、地域の見守り活動について、ある委員の方は一人で20世帯を受け持つっており、他の委員も平均200から300世帯に対応している状況を知りました。

また、委員の人員確保については高齢化の問題と、委員のなり手不足が深刻化しているとの話があり、議員においても候補者を推薦いただきたいとの要望もありました。

このたびの意見交換会では、地域の福祉活動を担う重要な団体の一部として、貴重な意見をいただき、委員会としても今後の活動に役立つ意義のある内容でした。



(村井)

### 市民との意見交換で課題を把握

観光・経済委員会

本委員会は市政にかかわる市民の意見を把握するため、2月8日に登別国際観光コンベンション協会の役員および議会サポーターのみなさんと、MICEと全市観光の取り組み状況をテーマに意見交換会を開催しました。

登別国際観光コンベンション協会からは、登別観光協会から名称を変更した経緯について触れ、従来の温泉に特化した観光から脱却すること、登別の魅力を日本国内および世界に情報を発信し伝えていき、新たな観光資源の開発と、観光客を市内還流させ、全市観光につなげたいとの考えを示されました。

MICEについては北海道MICE誘致推進協議会に参加し、今後積極的に誘致活動を展開していくとのことでした。

また、議会サポーターへは、本委員会から重点活動テーマを軸とした行政視察とその内容を報告し、情報提供しました。2名のサポーターより市民目線の貴重な意見や指摘などを伺いました。

両意見交換会で頂いた意見について、委員会として観光施策への新たな提言に結び付けたいと考えております。



(若木)

\*MICE…企業などの会議や研修旅行、国際機関や団体、学会などの国際会議、展示会や見本市など多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントの総称。

### 議長諮問による

### 議会基本条例順守を強化

議会運営委員会

常任委員会活動の充実強化について、案件が2つ以上の委員会に関係するときは、執行機関の横断業務調整会議が定める横断業務の場合は、連合審査会において審査することを申し合わせ事項に追加し、委員会審査のあり方を明文化しました。市議会パブリックコメント制度の実施要綱を策定し、これまで以上に市議会が市民に軸足を置いた協働する議会、市民に開かれた議会となるように努めます。

住民参加促進への取り組みは、平成21年から議会議中継により、パソコンで見ることができるようになりました。しかし、議場に市民が足を運んで傍聴することにより、緊張感のある質疑や答弁の展開、質問力・答弁力の向上が期待されます。

昨年視察した鳥羽市議会では、傍聴時の受付簿を廃止するなど、斬新な取り組みを行っていました。平成17年に策定された「登別市議会傍聴規則」には時代にそぐわない制限があることから、傍聴の手続き(受付簿の記入)や傍聴席に入ることができない者(児童および乳幼児など)、

傍聴人の守るべき事項(帽子を着用しないなど)の規制の緩和を検討し、市民が傍聴しやすい環境づくりを目指すと思っております。(工藤)



(工藤)